

ELISAによるヒト血清中の *Mycoplasma pneumoniae* 抗体価の測定

II 肺炎患者・一般住民における抗体保有状況

中 尾 利 器

山口医学，第39巻，257～267（1990）

さきに確立したELISA（Ig G-ELISA, Ig M-ELISA）により、肺炎患者の *Mycoplasma pneumoniae* 抗体価を測定し、従来法（補体結合反応、間接赤血球凝集反応）と比較検討したところ、よい一致がみられた。また、肺炎患者の診断にはとくに Ig M-ELISAが有用と考えられた。次に、一

般住民における抗体価の測定を年次別に行ったところ、流行の前年（1983年）において1～3歳児の Ig G-ELISA抗体保有率の低下がみられ、一般住民におけるELISA抗体の保有状況がマイコプラズマ肺炎の流行と関わっていることが示唆された。